

初めての国際会議に参加して

情報工学府学際情報工学専攻M1 坂口 渉



はじめに

2014年9月17日～9月19日に、カザフスタンのアルマトイで開催された、The international conference on discovery and development of new antimicrobial drugs combating emerging infectious diseases に参加し、ポスター発表を行いました。日本からカザフスタンまでの直行便はなく、韓国の仁川で乗り継ぎ、乗り継ぎ時間も含めると合計で約13時間かかりました。

現地では昨年、当研究室に留学に来ていたアルマス君にお世話になりました。現地での公用語はカザフ語

とロシア語のため、非常に助かりました。移動手段は主にヒッチハイクで、朝の通勤時には路上で多くの人がヒッチハイクを行っていました。女性も一人でヒッチハイクを行っていたので驚きました。このことから治安は良いのではないかと思います。

国際会議にて

初めての国際会議では、非常に緊



アルマトイの街並み

張しましたが良い経験になりました。感染症についての学会ということで、私の研究テーマとの関連性も深く、様々なアプローチで研究を行っていることに刺激を受けました。また、同年代の研究者の方も多く、熱心に発表されている姿に、自分のモチベーションも高まりました。非常に有意義な時間を過ごすことができましたと思います。学会の合間の昼食時など、各国の研究者と会話を交わす機会があり、研究内容や、日本のことなどを話しました。「いつになれば日本で女性の総理大臣が誕生するのですか」という質問や、「バンザイの意味は何ですか」というような日本語でも返答に困るような質問があり、日本の文化についてよく理解しておくことが必要だと強く感じました。なかなか流暢に英語を話すことができず苦労しましたが、自分の考えを伝える喜びを感じました。また、学会の最終日に行われた晩餐会では、様々な人による「乾杯」が入れ代わり立ち代わり何度も行われ、文化の違いを肌で感じました。



国際会議にて

おわりに

国際会議に参加するに当たり、支援していただいた明専会に厚く御礼申し上げます。また、日頃より熱心にご指導いただいた北田栄准教授に心から感謝致します。

このような支援に応えるために、今後も視野の拡大と国際感覚を涵養するために邁進し、様々なことに挑戦していきたいと思えます。

(平成27年2月記)